



令和2年宇佐市消防出初式



令和2年1月11日(土曜日)に宇佐市総合運動場グラウンドにおいて「令和2年宇佐市消防出初式」が盛大に行われ、宇佐市消防団員(時枝団長以下815名)と宇佐市消防本部(麻生消防長以下72名)の職員が参加しました。

式典では是永修治宇佐市長の式辞のあと令和元年中に消防行政に多大な貢献をいただいた方々へ感謝状と記念品が贈られたほか、長年消防業務に精励した団員へ永年勤続功労章が授与されました。また、大分県知事代理の勝本英樹大分県北部振興局長、衛藤博幸宇佐市議会議員ほか国会議員をはじめ多数のご来賓の方々より祝辞をいただき、その後むつみ幼稚園幼年消防クラブが元気あふれるマーチングの数々で式典に華を添えてくれました。

出初式の最大の見どころである消防職団員による色鮮やかで勇壮な一斉放水の後、宇佐市議会の新開洋一総務常任委員長の「火の用心三唱」で本年の安全・安心を祈念し閉式となりました。



新年を迎え、市民の皆様におかれましては希望に満ちた年をお過ごしのこととお慶び申し上げますとともに、平素より消防団業務にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は元号が「令和」へと変わり新しい時代が幕をあげました。しかし、平成の終盤では今までに体験したことのないような大雨や強風といった災害が多発し、また近い将来南海トラフ地震が発生すると予想されている中「いつ・どこで・誰が」被害を受けるかわからない状況に市民の皆様も大きな不安を抱えたことと思います。そういった中、宇佐市消防団として、少しでも市民の方が安心・安全に暮らせるよう崇高な消防精神と郷土愛の精神をもって日々精進している次第です。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。また、本年が災害の少ない一年であるよう心からご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



宇佐市消防団長
時枝 憲 幸

新年のご挨拶

分団紹介



私たち第17分団は宇佐市院内町北部地区(院内北部小学校校区)を管轄に持ち、4部構成され各部ごとに地区内の火災予防の啓蒙活動・火災や風水害等の災害対応を行っています。近年では当地区内での火災件数は減少していますが、頻発する豪雨での消防団の活動の場が多く求められていると感じています。地域の会合時においても地震や豪雨の際の積極的な対応を求められてきています。そんな中現在まで大きな火災・災害による被害が出ていないのも地域の皆様の防災・火災に対する意識の向上、各団員の献身的な活動のおかげだと思っています。現状各団員について昼間は仕事の都合上災害時に迅速な対応をとはいかない現実がありますが、地域の皆様のご協力と御理解を頂きながら今後も今までの活動を継続していくとともに、講習会や訓練等に参加して災害への対応力をつけていくことで地域の皆様の安心安全を守る消防団でありたいと思います。

第17分団長 中野 博文

令和2年春季全国火災予防運動について

令和2年3月1日から1週間 春の火災予防運動が行われます。火災予防運動は市民の防火意識の高揚を図るとともに、火災から生命・財産を守ることを目的として実施されます。まだまだ乾燥する日が続きますので、火の取扱いには十分に注意し、防火を心がけましょう!また、幼年消防クラブによる防火演奏を下記の日程で行います。園児が日頃の練習の成果を披露してくれますのでたくさんの方のご来場をお待ちしております。

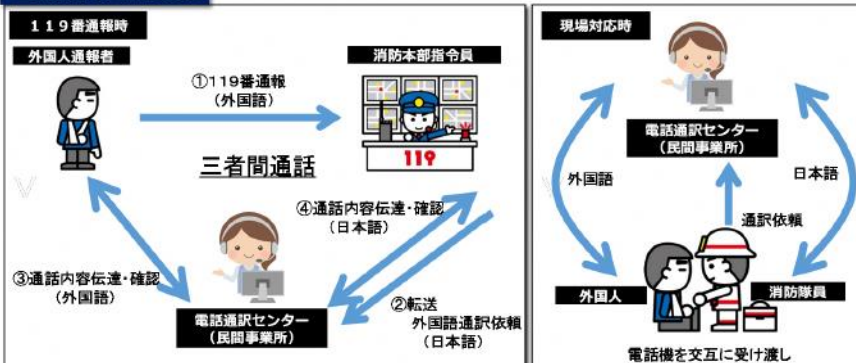
- 3月2日(月) 10時00分～ 慈光保育園幼年消防クラブ 場所 四日市駅前広場
- 3月6日(金) 10時30分～ むつみ幼稚園幼年消防クラブ 場所 メルクス宇佐駐車場

2019年度全国統一防火標語

「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」

119番通報等における多言語電話通訳業務を運用開始しました

三者間同時通訳の流れ



市消防本部では、外国人からの119番通報に迅速に対応できるよう、多言語同時通訳の業務委託を締結し、令和元年9月1日から運用を開始しました。これにより、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人からの119番通報等に対し、電話での同時通訳を利用することで災害発生場所の確認や通報内容を通信指令員が聴取することができ、迅速な対応が可能となりました。また、災害現場においても携帯電話を通じて同様の通訳をおこなうことが可能であり、近くに日本語を話せる人がいない場合の消防救急活動の円滑化を図ることができます。

対応言語 英語、中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、ポルトガル、スペイン、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、ネパール、タガログ、マレー、ミャンマー、クメール、モンゴル 合計18言語